



通学路の交通安全対策



番号	①	②	③	④
項目	歩行空間の加-化	リブ式路面表示	ハンプ	ニート式メーヅ ハンプ
工法	薄層加-舗装	リブ式高視認性区画線	ハンプ 舗装	セーフフォルト
施工イメージ				
概要	路側帯を加-舗装とし、ドライバーに歩行空間を認識させる。	路面表示による視認性向上と、乗り上げ時の振動と警告音による注意喚起する。	緩やかな段差を設けることにより、過度な速度で自動車を通過させた際にドライバーに与える不快感で速度を抑制させる。	ドライバーに表示物が浮き上がっていると錯覚させることにより速度を抑制させる。
長所	・路側帯を明確にすることにより、車両の乗り入れ、駐停車が低減される。	・路側帯への乗り上げが低減される。	・速度抑制の効果が得られやすい。	・車両通行時の騒音・振動がほとんどない
短所	・歩車道分離のみで速度抑制の効果が得られない。	・通行車両が乗り上げると、騒音が発生する。	・通行車両が段差に乗り上げた時に騒音が生じる。	・ドライバーが慣れると速度の抑制に繋がらない。
効果	高い	高い	高い	低い
施工費 (直接工事費)	@4,500/m ² (RPN-13、200m ² 以上)	@560/m (溶融式、実線、15cm、500m以上)	仕様により異なる	@15,000/個 (10箇以上)

番号	⑤	⑥	⑦	⑧
項目	物理的狭さく	視覚的狭さく	歩行者への注意喚起	視線誘導
工法	ポストリソ	アートブロック	ロムステッカー	ルミル
施工イメージ				
概要	実際に自動車の通行部分を狭めることにより、ドライバーが心理的に速度を抑制させる。	ドライバーに自動車の通行部分が狭まっていると錯覚させることにより、心理的に速度を抑制させる。	路面表示により、児童の横断歩道、交差点への飛び出しに注意を促す。	特殊な反射式道路標を設置し、ドライバーの視線を誘導する。
長所	・速度抑制の効果が得られやすい。	・車両通行時の騒音・振動がほとんどない	・目線は足元に行くので、アートブロックが高く、歩道路面を利用できる。	・特に夜間における視線誘導に効果的で、歩車道の区別が付きやすい。
短所	・狭さく部分で通行車両が離合しにくくなる。	・ドライバーが慣れると速度の抑制に繋がらない。	・ドライバー側には効果が得られない。	・速度抑制効果は得られない。
効果	高い	低い	高い	低い
施工費 (直接工事費)	@20,700/本 (可変式、650mm、30本以上)	@9,800/m ² (50m ² 以上)	@8,000/枚 (A4版、10枚以上)	@1,330/個 (小型紙、両面反射、貼付式、30個以上)